

ボランティニア

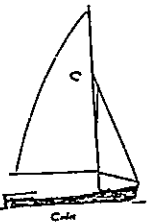
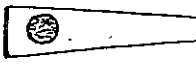
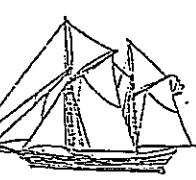
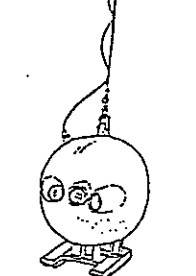
からの反又稿

海王丸ハーク鯉のほりがあつた。先般八幡保育園児約60名が海王丸時計塔前のホールにかわいいかけ声でロープを引き、大空に泳ぐ大きな鯉に唸声をあげ、続いて「鯉のほりのほり」をみんなで歌った。

5月6日の展覧に海王丸のマスケットにも鯉のほりが泳いで白いセーラーと井川風船を受けて海王丸ハークへおいでの時、みんなもボランティニアの我々にも楽しい日となった。私の俳句口説から、拙作を二句鯉のほり園児ら歌い高い声

由

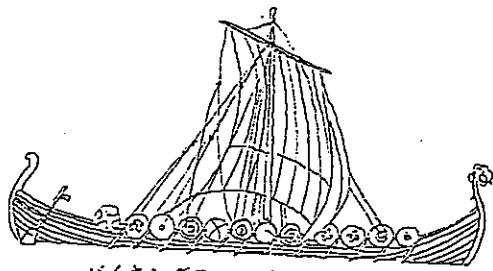
「シンクマスト」の、みの虫
(尾山マコ)



3 ボランティニアの帽子の幹旋について

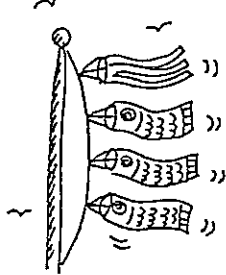
ボランティニア有志の中で、海王丸ボランティニアの帽子を作ろうという声になりまして、冬物 25000円、夏物 20000円で幹旋します。見本は6月6日(日)の総帆展覧の時に、見て下さい。注文は当日のみで、現金前払いで受け付けます。納品は7月4日の総帆展覧の時を予定しています。

(ボランティニア有志より) 注文は6月6日、代金 前払いをお願いします。(細書きあり)



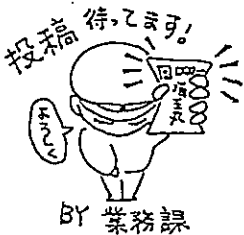
バイキングのロングシップ(10世紀)

2



これからの季節、神戸に出かける人も多くなると思われます。そこで、海や船が大好きな人間にとって見逃してはならない場所を紹介したいと思います。それは、かきやいさぐさ、東灘区深江南町5丁目1番1号にあり、神戸商船大学の校舎に隣接する資料館です。

もしあなたが模擬シマンなら、よだれもの。そして、海や船に心を奪われた人には、涙もの。何だか不思議な感じがする。この一言で済ませ、そして、鯉のつばはグラウンドにいたる初代海王丸なげまっせ。ほんや、神戸へ行くなら、まじっさい商船大の海王丸館やで。



BY 業務課

勝手に業務課員プロフィール

久しく総帆展覧に参加していないボランティニアの方から交代した業務課員を紹介してくださいという希望がありました。これに答えて簡単に業務課員を紹介いたします。

- 細島重胤 兵庫県淡路島出身。フォアマスト担当。帆船で太平洋を渡るといふ回数。日本が世界に誇る帆船乗り。新造なった新「海王丸」の初代甲板長。
- 文字どおり「オールドソルト」。
- 漆師博 七尾市出身。シガーマスト担当。「日本丸」最後の航海の時のボーマン(甲板長)。ボランティニアおなじみの人です。
- やはり「オールドソルト」。
- 安守潔 富山市出身。現役時代は怪力「安守さん」でした。いまはお孫さんも入っています。
- やはり「オールドソルト」。

釘本和秀 福岡県出身。シンクマスト担当。

航海訓練所では、操舵手(クォーターマスター)。基本に嚴格な音手の口實分。家庭と愛人「アイちゃん」をこよなく愛す。

高橋武男 新潟県出身。フォアマスト担当。昨年6月に結婚した。新婚さん。富山での「甘い」。「生活を楽しんでいます」。

古堅浩正 沖縄県出身。シンクマスト担当。富山の寒さが身にしみるのも今年限り。ちかちか、いいことがありそうです。



宮藤俊光 北海道出身。メインマスト担当。業務課員の中では、一番のヤングマン。甘いマスク(?)で、ピートに乗って、富山での独身生活を楽しんでいます。

藤井照久 千葉県出身。フォアマスト担当。通称「チヨッサー」就職して以来、乗船履歴の半分は「海王丸」。海王丸のことはなんでも知っている。

笹谷敏二 高岡市出身。シンクマスト担当。慣れない船(?)に乗っています。家では天体望遠鏡を抱えて寝ている(?)。

川路勉 鹿児島県出身。メインマスト担当。ふだんは熱熱(?)。な好青年。センスのいい多趣味が持ち味。(今はラジコンヨットに凝っています。)

そのうち、本物のヨット(?)。

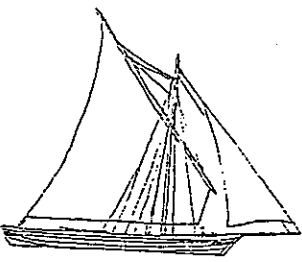
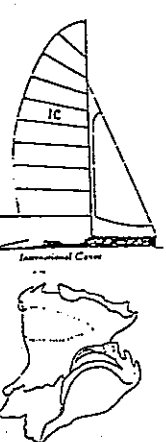
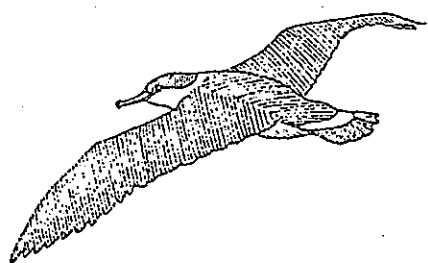
あとがき

ゴールデンウィーク最初と最後の日の総帆展覧に、多くのボランティニアの方々に参加していただき、ありがとうございました。おかげさまでゴールデンウィーク中の海王丸パークへの入出は10万4千人を超え、県内でも2番目に入出の多い場所となりました。

また、晴れた週末には、小さな子供を連れた家族連れが、お弁当を広げる姿が見られ、海王丸パークもすっかり、県民の憩いの場所の一つになったような気がします。この多くの県民を引き付ける海王丸も、ボランティニアの協力なくしては、存在しません。

そして、ボランティニアの回覧板として始めた、この「能輪」についても発行直前号「も4号目。この新聞をみて、久しぶりに総帆展覧に参加したボランティニアの方も何人かいらっしゃいます。

また、ボランティニアの方からの投稿も増えてきました。この手作り新聞が、富山の「海王丸」の主役であるボランティニアの記事で埋まり、ボランティニア間の回覧板となれば幸いです。



シチリアの漁船

